

梨産地活性化に取り組んで ～八郷梨経営研究会の活動事例から～

石岡市八郷地区の中核的な生産者の組織である「八郷梨経営研究会」を対象に、生産性の向上と消費者への産地 PR 活動に積極的に取り組み、その成果を八郷梨部会全体に伝達してきました。平成 19 年度からは、生産者、関係機関の意識の共有化を図るため、八郷梨産地活性化推進会議（市、農協、梨部会役員、研究会長、普及センターで構成）を設置し、生産技術の向上と販売促進活動を進める推進体制を整備し、産地活性化に向けた動きが活発になってきました。

● 産地体制の整備 ●

八郷地区梨産地活性化推進会議では、産地の課題や活性化の推進方策等について話し合い、5 年後のビジョン策定や年度ごとのアクションプランを樹立しました。さらに推進会議の下に各担当者による活性化チームを設置し、アクションプランを実践しました。その結果、生産者全体に改革の意識が広がり全員がエコファーマーの取得に取り組むなどの成果が上がり、産地に動きがでてきました。



梨部会講習会での実演



高齢樹の樹勢回復マニュアル



株元マルチ実証圃

● 生産性の向上 ●

研究会が実証してきた剪定法改善による樹勢回復の成果を剪定講習会等で部会全体に披露し、同時に技術マニュアルを作成しました。今後マニュアル実践指導者の育成を進めながら、部会全体への普及を図っていきます。あわせて、有機物株元マルチによる樹勢回復技術にも取り組み、幸水の生産性向上に向けた普及活動をおこないました。

● 消費者へのユニークな PR 活動 ●

平成 20 年度から、梨を美味しく食べている風景や梨のおいしさを自由に表現した絵を小学生から募集する「やさとおいしい梨の絵コンクール」を開催しており、平成 21 年度は 113 点の応募がありました。

平成 20 年度の入賞作品を活用して梨部会の POP（販売時点広告）を作成しました。配布した量販店からは「絵を使った POP はめずらしい」と好評で、産地の PR に役立ちました。



量販店での POP の活用状況